

(ドイツ・フランス・スイス) 三カ国間

BUND フライブルク南オーバーライン地域連盟

私達の課題

青い惑星。私達はこの地球がどんなに美しいかを見るために、宇宙空間へ飛び立つ必要はありません。美しく、傷つきやすく、そして危険にさらされている。

この地球は友人を必要としています。自然と環境の為に尽力できる人を。

ドイツにおいて BUND は約 460,000 人の会員を有しています。

アーヘルン (Achern) とミュールハイム (Müllheim) の間に位置する南オーバーライン地域では、およそ 15.000 人の人々が天然の資源を守り続けるために、政党を超えたかつ公益的な私達の連盟に所属しています。差し迫る環境問題に直面して私達は、エコロジカルで持続可能な発展を導くために、あなたの力が必要なのです。

地域の BUND

私達の強みは、この地域に多数の小さなコミュニティが存在していることです。

オルテナウ (Ortenau)、フライブルク、エメンディンゲン郡、ブライスガウホーホシュヴァルトでは40の連盟グループが活発に活動しています。そしてここでは実践的な活動が行われています。

自然保護への取り組み

鳥、コウモリ、両生類の保護

環境をテーマとした情報活動

児童・青少年対象のエコロジカルな活動

環境を脅かす計画への意見表明

環境破壊や原子力発電に対する抗議行動

私達の地域グループでは、この地域で危機に瀕している木々や町角にある最後のコウモリの巣が、海で絶滅の危機にあるくじらのように大事なのです。グローバルに考え、ローカルに行動することは私達の活動のモットーです。

通りを越えて運ばれたヒキガエル、無駄な伐採から救われた木、私達の活動を通して守ら

れたビオトープは成果の一つです。小さな創造のためのこのような情熱は、地域住民のための BUND による活動を、まさしく表しています。ひとつの活動、そのために私達はあなたを必要としています。

身近にある環境問題

ライン川と黒い森の間にひろがる私達の故郷は美しい。まだ他にも蘭の咲く草地、ヴァイラーラインナウのカワセミ、静かな森などがあります。まさしく環境首都であるフライブルクに私達の地域事務所をかまえていることは喜ばしいことです。というのは、BUND はフライブルクがこの「タイトル」を獲得するのに大いに貢献したからです。しかし環境首都フライブルクは「エコロジーと持続可能性への前進像」という名にはまだほど遠いのです。環境首都フライブルクは全世界にまたがる環境破壊のプロセスが他よりもいくらかゆっくりと進行しているという意味にすぎないのです。私達のもとでも自然が後退していることには変わりありません。絶滅危惧種が避難できるエリアは、減少の一途をたどっています。それはここに住む人間の生活の質も同じく危険にさらされていることを意味しています。この南オーバーライン地域では工場が密集して建ち、そうした土地利用が爆発的に増えています。

環境問題は明らかに増加しています。隣接するアルザスではライン川沿いに環境負荷を与える重工業地帯が拡大しています。エルザスの原子力発電所フェッセンハイム（Fessenheim）における技術的な問題は増大し、スイスのホーホライン地域では原子力最終貯蔵地が国境近くに建設されています。ヨーロッパの南北軸にあたる交通の要所で、度を越えたそして私達自身の生活基盤を危険にさらす社会問題に私達は直面しています。この地域において、BUND のなすべき未来への課題は多いのです。

私達の活動

BUND 地域連盟は、多様なそして地域を越えた環境・自然保護問題に取り組む至る所で、当地域の BUND グループの活動を支援しています。私達はいわゆる「消防活動」のような機能を持ち、広報活動、インターネットでの討論、展示会、講演会、所信表明、チラシ・ポスター、環境コンサルティングなど様々な活動をとおして、地域 BUND グループを支援しています。また他の連盟や市民活動そしてアルザス（Alsace Nature, CSFR など）やスイスなど国を超えて密に協力体制をとっています。我が BUND 地域連盟は、環境危機と原子力発電所に反対する国境を超えた抵抗運動を根源に展開してきた、環境に関する地域の歴史のもとに成立しています。私たちの取り組むテーマはその他、土地利用、無計画な宅地化、フェッセンハイム（フランス）とライプシュタット（スイス）の原発問題、ベルケン アムラインファルの核廃棄物最終貯蔵地計画、環境を脅かす工場、交通の要所としての南バーデン地方問題、塩化カリウムによる地下水の塩分過多、ライン川沿いの自然保護と洪水対策研究の受託、企業の「環境にやさしい」という宣伝活動、そして全ての大きな又重要な地域の環境、自然保護に関するものです。人々が、自然が、平和が、また未来の持続可能性が脅かされる場所、それらが私達の活動の場です。

BUND 地域連盟の大きくかつ素晴らしいプロジェクトはフライブルクゼーパークにあるエコステーションです。私達の活動についての概要はホームページでご覧になって頂けま

す。

無給の幹部は皆の意見を尊重して選ばれ、通常業務は地域連盟とエコステーションのスタッフで行われます。

実践的な活動

それは BUND が多数の会員と支援者を有することによってのみ可能であり、又私達の活動に対する多数の地域住民の賛同と寄付によって直接支援されているから可能なのです。

私達はこれから先も、会員、支援者、寄付者、とりわけ環境のため、自然のため、また持続可能性のために努力できるこの地域からの人々を切実に必要としています。

※お問い合わせ等は恐れ入りますが、ドイツ語・英語・フランス語でお願い致します。

フライブルクからの祝辞

BUND南ライン上流支部（フライブルク）はFoE Japanの25周年を心よりお祝い申し上げます。BUNDフライブルクとエコステーション、FoE Japanの間では、長年うれしいお付き合いや交流が行われています。2つの姉妹団体同士だけでなく、人と人との交流も。

日本とドイツ両国は空間的には離れたところに位置していますが、私たちは共通の不安と問題を抱えています。世界中で自然、環境、地域の文化が失われつつあります。全世界で環境破壊や核兵器の脅威が強まっています。

日本とドイツにおける環境運動は多くのことを成し遂げてきましたが、それでもこれまでは世界的な破壊のプロセスをただ単に遅らせてきただけです。今、環境運動が目ざすのは、全世界的な将来性と真の持続可能性、少しの資源とエネルギー消費で暮らす良い生活です。

まだまだたくさんやることがある。日本で、ドイツで、そして世界で。

アクセル・マイヤー